

令和3年度第1回鈴鹿市入札監視委員会 会議録概要

日時 令和3年8月19日(木)

午後1時25分～午後2時50分

場所 鈴鹿市役所10階 入札室

出席者

- 鈴鹿市入札監視委員 5名
酒井委員, 南条委員, 長屋委員, 川戸委員, 中森委員
- 入札監視委員会事務局 8名
総務部長, 総務部次長
契約検査課(課長, 契約GL, グループ員)
上下水道総務課(課長, 契約調達GL, グループ員)

【開会】

- 契約検査課長 会議中の新型コロナウイルス感染症対策について
- 総務次長 挨拶
- 事務局 自己紹介
- 会長挨拶

【議事】(発言者: □委員, ○事務局)

1 令和3年度制度改正予定について

(最低制限価格・低入札調査価格の改正及び電子入札システムの導入)

資料に基づき事務局から説明

【質疑】

- 最低制限価格の改正後の範囲(予定価格の0.75～0.92)は国の基準に倣ったものか?
- その通りです。
- 電子入札は工事・物件とも全ての入札を対象とするのか? 小規模事業者等で対応が難しいところもあるのではないか?
- 令和4年度から全ての入札で実施する予定。ただし、事業者の対応状況により当面は紙による入札との併用を検討している。小規模事業者等には併用期間内に対応を進めていく。
- 電子入札システムの導入が事業者の負担になるのではないか?
- 先行導入している三重県や他自治体の電子入札に既に参加していれば、同様に参加が可能である。また、交通費や郵送にかかる経費等が不要となるメリットもある。なお、事業者の準備としては、印鑑証明に代わる電子認証に必要なICカードの購入が必要となる。

2 令和2年度入札結果について

資料に基づき事務局から説明

【質疑】

- 令和2年度下水道部門の格付け価格帯別入札件数のA・B, B・Cランク等が0件となっているが理由は何か?

- 結果として件数が0件となったランクがある。Aランクの事業者の方が入札にも積極的で、Bランク以下の業者は比較的参加自体が少ないという事情もある。入札参加条件をA又はBランクとした入札でも、結果としてAランクの事業者が落札することが多い。

3 抽出案件の審議（令和2年4月～令和3年3月分）

資料に基づき事務局から説明

【市長部局】

- ・ 鈴鹿市立石薬師小学校屋内運動場増改築工事【建築一式・一般競争入札】
- ・ 石垣池公園野球場ナイター照明外改修工事【電気工事・一般競争入札】
- ・ 矢橋肥田高架橋 橋梁耐震補強工事【土木一式・一般競争入札（総合評価落札方式）】

【上下水道局】

- ・ 住吉南玉垣配水本管布設工事7工区【土木一式・一般競争入札】
- ・ 高岡配水本管布設工事8工区【土木一式・一般競争入札】
- ・ 鈴鹿市農業集落排水施設最適整備構想策定業務委託【土木関係コンサルタント・随時契約】

【質疑】

- 「鈴鹿市立石薬師小学校屋内運動場増改築工事」について、落札率が高くなっているが何か理由があるのか？
- 建築工事は土木工事と異なり、全体の8割ほどが民間工事である。民間工事は社会情勢により発注量等の変動が大きく競争が激しい。また、建材メーカーにヒアリングを行って掛率を算出し、予定価格を実勢価格に近い額で設定している。更に建築工事は鉄筋工事、内装工事など工種が多く、職人への下請発注が多くなるが、その経費は時期等によって変動がある。そのため入札参加事業者も公共工事に対しては企業努力による大幅な値下げが難しく、落札率が高くなる傾向がある。
- 「矢橋肥田高架橋 橋梁耐震補強工事」について、失格となった入札者が多いが、何か理由があるのか？
- 工事費内訳費目の基準未満により失格となったものについて、本市においては橋梁の耐震補強工事、及び今回指定の工法の事例が少ないため、当市が想定する安全管理等に必要な額として設定した基準額に対して、入札者に見込み違いがあったものと思われる。以後同様の案件があれば、今回の事例を基に失格は減少すると思われる。
失格基準未満により失格となったものについては、低入札調査基準未満の入札の中でも相対的に低価格の入札であるため、公共工事としての品質確保が担保できないとして失格としている。
- 総合評価落札方式は複雑な手法だが、事業者の制度に対する理解が不十分で失格が多くなったということはないか？ これまでも総合評価落札方式による入札で失格が多く発生しているということはないか？
- 事業者は十分に理解していると認識している。失格基準については相対的な基準のため比較的失格が発生しやすいが、工事費内訳費目の基準未満により失格となったものについては通常は同様の理由で失格となる例は少ない。また、入札参加者が少なかったため失格が目立つが、割合で見ても今回ほど失格が多くなることはあまりない。

- 価格点以外の評価点による順位を比較して入札額を決めることは可能か？
- 価格点以外の評価点に係る資料は入札書と同時に提出することとなっている。資料を精査後、開札に先んじて結果を公表するが、入札額を変更することはできない。
- 「高岡配水本管布設工事 8 工区」について、全ての入札参加者が同額で並んでいるが、何か理由があるのか？
- 大手事業者はシステムを用いて一律に工事費を積算している場合が多く、入札額が横並びになることも多い。また、水道工事は企業努力により材料費を値下げしやすいことから、今回は最低制限価格の設定範囲の上限に集中したと考えられる。最低制限価格は事後公表であるが計算方法は公開されており、事業者は積算の中である程度算定が可能である。
- 「鈴鹿市農業集落排水施設最適整備構想策定業務委託」について、業務の内容は全 18 地区が対象となっているが、随意契約理由にある機能診断調査の実績は 16 地区となっている。2 地区分の差があるが理由は何か？
- 農業集落排水施設は 18 地区あり、令和 2 年度に本業務を実施するにあたり、事前に調査が必要と判断した地区に対して平成 30 年度及び平成 31 年度に機能診断調査を実施したものである。
- 平成 30 年度及び平成 31 年度の機能診断調査も随意契約か？他市でも同様の案件では随意契約としているのか？
- 農業集落排水事業自体が県内で減少しているが、同事業の推進のために農林水産省の主導により土地改良事業団連合会という団体を組織し、ノウハウを蓄積してきた経緯がある。県内のコンサルタント事業者で同団体に匹敵するノウハウを有するものはなく、他自治体でも同団体に委託し事業を進めていると認識している。機能診断調査も随意契約である。
- 新型コロナウイルスの流行により、発注量の減少等の影響はあるか？
- 現場での感染対策の徹底等を指導しているが、現状では発注量等への影響はない。

4 その他

- ・ 次回の委員会の開催は例年通りの開催であれば 2 月頃を予定している。
- ・ 次回の審議案件抽出を長屋委員に依頼。

【閉会】

以上